

家畜生産の科学

Elements of Animal Science and Technology

ナンバリングコード			
開設年度	2023	開設部局	農学部
学期	前期	学年	1年
曜日	集中	時限	集中
履修期	1期	授業形態	講義
科目区分	選択	単位数	1単位
対面／遠隔	対面授業	授業回数	8回

■担当教員

三好 和睦

■共同担当教員

井尻 大地、大久津 昌治、大島 一郎、大塚 彰、下桐 猛、高山 耕二

■授業概要

鹿児島は畜産の盛んな県であり、鹿児島大学には家畜を生産するための研究室が揃っている。すなわち家畜育種学、家畜繁殖学、家畜管理学、栄養生化学・飼料化学および家畜生体機構学に関する研究室である。特に食肉を生産する経済動物を飼養するためには、これまでに多くの科学的知見が積み重ねられ、現在の生産体系ができています。単純に困って、飼料を与えれば肉が生産されるわけではない。本講義では、現在家畜がどのように生産されているのか、またその課題について、解説する。

■学修目標

- 1) 家畜の生産体系について説明することができる。
- 2) 家畜生産における課題について説明することができる。
- 3) 畜産科学コース教員の研究内容について説明することができる。

■授業計画

- 第1回 家畜はどうやって選ばれてきたのか？
- 第2回 家畜にはどんな飼料が与えられているのか？
- 第3回 家畜の栄養の消化・吸収メカニズムは？
- 第4回 家畜はどうやって殖やすのか？
- 第5回 家畜と医学の関係？
- 第6回 家畜はどんな管理をされているのか？
- 第7回 家畜はどうやって生産されているのか？
- 第8回 最近の研究トピック

※講義順は教員の都合で入れ替わる可能性があります。

■授業方法

アクティブラーニング(学習の振り返り)

■準備学修に必要な学修時間の目安

本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は15時間分(2h×7.5コマ)となるため、30時間分相当の事前・事後学修(課題等含む)が、授業の理解を深めるために必要となる。

■教科書

教材はその都度、各教員が準備する。

■参考書

■成績評価方法・評価基準

毎回の課題(レポート、小テスト等)(100%)

■オフィスアワー

火曜日 12:00～14:00

■連絡先(TEL)

099-285-8587

■連絡先(MAIL)

kmiyoshi@agri.kagoshima-u.ac.jp

■担当教員への連絡方法

■履修条件

特になし

■実務経験のある教員による実践的授業

該当なし

■その他科目区分

■注意事項